

令和4年度（令和4年4月入学）・令和3年度（令和3年秋入学）

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科

博士前期課程（修士課程）一般入試学生募集要項

専攻名	一般入試			
	4月入学			秋入学
	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期	
応用生物学専攻	20名	—	若干名	—
材料創製化学専攻	21名	—	若干名	—
材料制御化学専攻	20名	—	若干名	—
物質合成化学専攻	21名	—	若干名	—
機能物質化学専攻	20名	—	若干名	—
電子システム工学専攻	10名	—	—	—
情報工学専攻	16名	—	若干名	—
機械物理学専攻	16名	—	若干名	—
機械設計学専攻	12名	—	若干名	—
デザイン学専攻	30名	—	若干名	—
建築学専攻	66名	—	—	—
京都工芸繊維大学・チエンマイ大学 国際連携建築学専攻	4名	—	—	—
先端ファイブロ科学専攻	35名	若干名	若干名	若干名
バイオベースマテリアル学専攻	12名	若干名	若干名	—
出願期間	第Ⅰ期・秋入学：令和3年6月25日～7月1日 第Ⅱ期：令和3年9月7日～9月14日 第Ⅲ期：令和4年1月5日～1月12日			
学力検査日	第Ⅰ期：令和3年8月19日・20日 第Ⅱ期：令和3年10月16日 第Ⅲ期：令和4年2月8日 秋入学：令和3年8月19日			
合格発表	第Ⅰ期・秋入学：令和3年9月1日 第Ⅱ期：令和3年10月20日 第Ⅲ期：令和4年2月18日			
入学手続期間	第Ⅰ期・第Ⅱ期：令和3年11月18日～11月25日 第Ⅲ期：令和4年3月22日～3月27日 秋入学：令和3年9月3日～9月9日			

令和4年度（令和4年4月入学）・令和3年度（令和3年秋入学）
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 博士前期課程（修士課程）
一般入試学生募集要項

1 募集人員

専攻名	募 集 人 員			
	第Ⅰ期	4月入学		秋入学
		第Ⅱ期	第Ⅲ期	
応用生物学専攻	20名	—	若干名	—
材料創製化学専攻	21名	—	若干名	—
材料制御化学専攻	20名	—	若干名	—
物質合成化学専攻	21名	—	若干名	—
機能物質化学専攻	20名	—	若干名	—
電子システム工学専攻	10名	—	—	—
情報工学専攻	16名	—	若干名	—
機械物理学専攻	16名	—	若干名	—
機械設計学専攻	12名	—	若干名	—
デザイン学専攻	30名	—	若干名	—
建築学専攻	66名	—	—	—
京都工芸繊維大学・チェンマイ大学 国際連携建築学専攻	4名 《注》(3)	—	—	—
先端ファイブプロ科学専攻	35名	若干名	若干名	若干名
バイオベースマテリアル学専攻	12名	若干名	若干名	—

- 《注》 (1) 募集人員は、あくまで合格の目安を示すもので、合格者の数を確約するものではありません。
 選抜の結果によっては、合格者が募集人員に対して増減する場合または合格者がいない場合があります。
- (2) 機械物理学専攻では機械設計学専攻を、機械設計学専攻では機械物理学専攻を第2志望とすることが可能です。第1志望の専攻で合格とならなかった場合、第2志望の専攻で合格することがあります。
- (3) 京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻では、建築学専攻を第2志望とすることが可能です。第1志望の専攻で合格とならなかった場合、第2志望の専攻で合格することがあります。また、募集人員4名には、連携外国大学（チェンマイ大学）における入学試験の定員2名分を含むため、本学における入学試験の定員は2名です。
- (4) 各専攻における推薦入学特別入試（バイオベースマテリアル学専攻は自己推薦特別入試を含む）の入学手続者数が募集人員に対して増減した場合は、一般入試第Ⅰ期の各専攻の募集人員を減らす、あるいは増やすなど調整を行います。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する人とします。

- (1) 大学を卒業した人及び令和4年3月（秋入学の場合は令和3年9月）までに卒業見込みの人
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された人及び令和4年3月（秋入学の場合は令和3年9月）までに授与される見込みの人
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した人及び令和4年3月（秋入学の場合は令和3年9月）までに修了見込みの人
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した人及び令和4年3月（秋入学の場合は令和3年9月）までに修了見込みの人
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人及び令和4年3月（秋入学の場合は令和3年9月）までに修了見込みの人
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指

定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された人及び令和4年3月(秋入学の場合は令和3年9月)までに授与される見込みの人

※(6)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の確認を行いますので、次の期日までに学位授与(見込)証明書、学業成績証明書を入試課大学院入試係(innyushi@kit.ac.jp)まで電子メールにて送付してください。

第Ⅰ期・秋入学：令和3年5月24日(月)、第Ⅱ期：令和3年7月21日(水)、第Ⅲ期：令和3年11月18日(木)

確認終了後、結果を電子メールにてお知らせします。

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和4年3月(秋入学の場合は令和3年9月)までに修了見込みの人
- (8) 文部科学大臣の指定した人(文部省告示第5号)及び令和4年3月(秋入学の場合は令和3年9月)までに該当する見込みの人
- (9) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第102条第2項の規定により大学院に入学した人で、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた人《注1》
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、令和4年3月(秋入学の場合は令和3年9月)までに22歳に達する人《注1、注2》
- (11) 令和4年3月(秋入学の場合は令和3年9月)までに、次のいずれかに該当する人であって、本研究科において、本学の定める単位を優れた成績をもって修得したものと認められた人《注1》
 - ① 大学に3年以上在学〔前述(1)の該当者を除く〕した人
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した人
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した人
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人

《注1》(9)、(10)もしくは(11)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査及び入学許可認定等』に基づき審査の申請手続を行ってください。

《注2》(10)の出願資格については、高等専門学校・短期大学の卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない人を対象とします。

3 出願資格認定審査及び入学許可認定等

- (1) 『2 出願資格 (9)、(10)もしくは(11)』の資格で出願を希望される人は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに、申請書類の提出が必要となりますので、入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

入試区分	出願資格認定審査申請期限	出願資格認定審査結果通知
第Ⅰ期・秋入学	令和3年5月31日(月)16時まで	令和3年6月25日(金)まで
第Ⅱ期	令和3年7月30日(金)16時まで	令和3年9月7日(火)まで
第Ⅲ期	令和3年11月25日(木)16時まで	令和4年1月5日(水)まで

《注》今年度を実施する入試において出願資格認定審査を申請し、本研究科での審査の結果、出願資格があると認められた人は、他の入試区分に出願する際、再度の申請は不要です。ただし、次年度以降に実施する入試に出願の際は、当該年度の資格審査が必要となるため、再度申請を行ってください。

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『5 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。
- (3) 『2 出願資格 (11)』で出願資格認定され、出願し合格した人であっても、在籍する大学において3年次に履修登録した授業科目を優秀な成績で修得している人でなければ入学が許可されません。従って、入学許可の認定審査を次のとおり行いますので、必ず審査手続を行ってください。
 - ① 提出書類 成績証明書(3年次末までに修得したすべての科目名、単位数及び評価の記載があるもの)
 - ② 提出期限 令和4年3月11日(金)(秋入学の場合：令和3年9月10日(金))
受付時間は、9時から12時まで及び13時から16時までです。なお、郵送の場合も、提出期限の16時までに必着したのものについて受け付けます。
 - ③ 審査結果 令和4年3月18日(金)(秋入学の場合：令和3年9月17日(金))までに本人宛に通知します。
なお、本資格で本研究科博士前期課程に入学した人の学部学生としての学籍上の取り扱いは、退学となります。従って、合格者は、入学許可認定後、速やかに退学手続を行ってください。また、各種国家試験などの受験資格において大学の学

部卒業が要件となっているものについては、受験資格がなくなるので十分留意してください。

4 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間）

入試区分	インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間
第Ⅰ期・秋入学	令和3年6月25日（金）から令和3年7月1日（木）まで
第Ⅱ期	令和3年9月7日（火）から令和3年9月14日（火）まで
第Ⅲ期	令和4年1月5日（水）から令和4年1月12日（水）まで

上記の期間内に本学のインターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>) にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続きを行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続きは完了しません。必ず期間内に出願書類を提出してください。****

出願書類提出方法

<p>入試課へ持参して提出する場合</p> <p>《入試課》 松ヶ崎キャンパス 3号館 1階</p>	<p>○土曜日・日曜日・祝日は受付しておりません。</p> <p>○受付時間は9時から12時まで及び13時から16時までです。</p>
<p>郵送で提出する場合</p> <p>《郵送先》 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係</p>	<p>○それぞれの出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。</p> <p>○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続き完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角2封筒に貼り付けて必要書類を封入してください。</p>

5 出願手続（インターネット出願）

出願に際しては、本募集要項等を熟読し、登録漏れ、誤りのないようにしてください。

受験票は、システム入力及び検定料支払手続終了後、各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

「TOEIC個人用公式認定証（原本）」、封のされている「学業成績証明書」以外の提出書類は、入学願書印刷時に付番される「受験番号」をそれぞれの右上に記載してから提出してください。

なお、応用生物学専攻、材料創製化学専攻、材料制御化学専攻、物質合成化学専攻、機能物質化学専攻、電子システム工学専攻、情報工学専攻、デザイン学専攻、建築学専攻、京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻および先端ファイブ科学専攻の出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、希望指導教員にあらかじめ連絡・確認しておいてください（機械物理学専攻、機械設計学専攻およびバイオベースマテリアル学専攻については、希望指導教員への連絡は不要です）。

〔出願書類〕

(1) 入学願書	インターネット出願システム (https://www.postanet.jp/info/010050/) にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『6 検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。
(2) 学業成績証明書	在籍または出身大学の学長もしくは学部長が作成したものを提出してください。 《注1》
(3) 卒業証明書または卒業見込証明書	在籍または出身大学の学長もしくは学部長が作成したものを提出してください。 《注2》

（次ページへ続く）

(4) 志望理由書 ※該当の専攻・区分のみ	応用生物学専攻（第Ⅰ期）に出願する人は、本学のホームページ（ https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html ）より様式をダウンロードし、希望指導教員と相談のうえ、教員の確認印をもらって提出してください。確認印のないものは出願を認めません。
(5) 研究計画書 ※該当の専攻・区分のみ	応用生物学専攻（第Ⅲ期）、デザイン学専攻（第Ⅰ期・第Ⅲ期）、建築学専攻または京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻に出願する人は、本学のホームページより各専攻専用の様式をダウンロードし、希望指導教員と相談のうえ、教員の確認印をもらって提出してください。確認印のないものは出願を認めません。
(6) TOEIC個人用 公式認定証（原本） ※該当の専攻のみ	外国語の筆記試験に代えてTOEICを課している専攻に出願する人は、TOEIC Listening & Reading公式認定証(Official Score Certificate)（原本）を提出してください（コピー不可）。原本は、受付後直ちに返却します（郵送で出願された場合は(7)の返信用封筒にて返却します）。 なお、TOEICスコアの有効期限は、TOEIC受験日（公式認定証に明記されている年月日）が、出願期間の最終日から遡って、2年以内とします。 <u>また、カレッジTOEIC等の団体特別受験制度（IPテスト）によるスコアは、認めません。</u>
(7) 返信用封筒 （郵送での出願者のみ）	TOEIC個人用公式認定証返却用 長3サイズの封筒に住所、郵便番号、氏名を明記し、84円分の郵便切手を貼って提出してください。
(8) その他	ア. 現在、他の大学院に在学中の人は、当該大学院の受験許可書。 イ. 外国籍の方は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示してください。 ウ. 授業料免除を希望する私費外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください（19ページ参照）。

《注1》『2 出願資格 (2)もしくは(10)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の学校長等が作成したものとし、高等専門学校または短期大学（以下「高等専門学校等」という）の専攻科に在籍中または出身の人は、高等専門学校等及び専攻科の両方を提出してください。

《注2》『2 出願資格 (2)もしくは(10)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書とし、『2 出願資格 (2)』の場合は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与（申請受理）証明書または最終学校の学校長等が証明した学位授与申請予定証明書も併せて提出してください。

※一部の出願書類については本学ホームページの入試情報（https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html）よりダウンロードできます。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

※出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続のみに使用します。

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

6 検定料の支払

30,000円

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が**不要**または**免除されることがある**ため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

対象者	条件	必要書類等	検定料
国費外国人留学生	奨学金支給期間延長の申請予定者	国費外国人留学生であることを証明する書類	不要
大規模な風水害等により被害を受けた人	風水害等の発生が出願期間前の概ね1年以内	別途指示します	全額免除の場合あり

7 障害等のある人との事前相談について

本学に出願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。また、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

① 相談の時期

原則として、出願期間の1週間前まで。

② 相談の方法

相談書（健康診断書などの必要書類添付）を提出してください。必要な場合は、本学において出願者の事情を説明できる人との面談等を行います。

8 出願についての注意事項

(1) 次の場合には、出願書類を受理しません。

① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

② 出願書類がそろっていない場合

③ 出願書類の記載が不完全な場合

④ 検定料が支払われていない場合

(2) 出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

(3) 出願書類はTOEIC Listening & Reading 公式認定証（原本）を除き、いかなる理由があっても返還しません。

また、支払済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合

② 検定料を誤って二重に支払った場合

※ 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

(4) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学の許可を取り消すことがあります。

9 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

10 アドミッションポリシー

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

応用生物学専攻

人材育成の目標

分子から生態までの広範な領域の生命現象に関する基礎知識を修得するとともに、その有効利用のためのバイオテクノロジーを活用して、将来に向けた新しいライフサイエンス時代を担うことができる研究技術者の育成を目指します。

選抜の方針・ポリシー

生物学、生物化学に関する専門的な知識、実験科学的な理解力、英文の読解や表現に優れた人を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・生命と自然に対する敬愛
- ・探求心と観察力
- ・柔軟な発想
- ・独創的チャレンジ精神

材料創製化学専攻

人材育成の目標

材料創製化学の要となる高分子材料化学、無機物性工学、材料物理化学、並びに光電子工学に関する十分な基礎知識を持ち、高分子材料やセラミック材料などの物質の高次構造化・機能化のアプローチにより実効性あるイノベーティブな革新材料開発を実現する応用能力を身につけ、研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚、国際性を併せ持つ人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

高分子材料やセラミック材料の専門領域に対して強い関心を示し、それらの材料を科学する心の知性と実現する意欲を持つ人を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・科学する心の知性と洞察力
- ・積極的な発信力、表現力、コミュニケーション力
- ・社会に対する自覚
- ・研究技術者としての論理的判断力

材料制御化学専攻

人材育成の目標

高い機能を持つ材料を扱う研究技術者には、高分子、無機材料などの個々の特性についての知識に止まらず、機能の源となる基礎的な性質について深く理解していることが求められます。材料制御化学専攻では、それらの知識と理解に基づき、社会に役立つ材料とは何かを考え、将来への見通しを持つ人材、さらに自らの技術力をグローバルに展開する国際性を持つ人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

高分子物質、無機物質などの集合体による、材料のブレークスルーを実現することを志向しつつ、真に豊かな社会の発展を目指す人を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・自ら考える能力
- ・現象の多様性と法則性を共に認識する能力
- ・自分の意見を正しく伝え、深いディスカッションを行う能力
- ・社会における自らの役割と責任を自覚する能力

物質合成化学専攻

人材育成の目標

有機物質の最小構成単位である分子の設計原理の解明や合成手法の開拓を通して、新素材や先端機能材料の開発を目的とした教育・研究を行い、自然との共生を念頭に置いて、自ら考え行動できる積極性、創造性、そして国際性を併せ持つ人材の育成を目指します。

選抜の方針・ポリシー

物質の合成に強い興味と関心を持ち、化学に関する幅広い基礎知識を備え、環境との調和を考えながら、原子・分子レベルでの物質創成を通して有用な新規材料の開発を進めていくことのできる人材を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・自然科学に対する強い関心
- ・化学、物理、数学などの基礎学力
- ・基礎学力に基づいて研究を進展させる創造性と論理的思考力
- ・手ずから実験を行うことのできる積極性と行動力
- ・コミュニケーション能力

機能物質化学専攻

人材育成の目標

生命、エネルギー、自然環境を化学の視点からとらえながら、生体関連物質等の機能性物質の構造と機能の精密解析及び機能性物質の創成と応用に関連する研究経験から、洞察力と問題解決能力を身につけた研究技術者の育成を目指します。

選抜の方針・ポリシー

生命科学と化学の学際領域を担う機能性物質の構造と機能について強い興味と関心を持ち、研究遂行する上で不可欠な基礎知識、英語の理解力及び研究に関する問題解決能力を備えた人を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・機能性物質に対する深い興味と化学、数学、物理、生化学の基礎学力
- ・表現力、コミュニケーション能力
- ・研究技術者としての論理的判断力

電子システム工学専攻

人材育成の目標

エレクトロニクス基盤技術や情報通信技術を修得するとともに、高度な専門知識に基づく将来に向けた新しい技術の開発を先導する能力、新しい技術を社会に応用、適合させるための総合力を身につけた人材の育成を目指します。

選抜の方針・ポリシー

修学及び研究活動に必要な英語力、専門基礎学力に加えて、研究意欲を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・チャレンジ精神と行動力
- ・論理的な思考力と設計能力
- ・数理的解析能力
- ・感性と創造力
- ・自己表現能力

情報工学専攻

人材育成の目標

あらゆる産業基盤を支えているICT についての高度な知識と技能を身に付け、情報機器製造業を初めとする様々な製造業において、また、ICT を活用したサービス事業を展開する企業において、さらには ICT に関連した様々な企業及び教育・研究機関において、リーダーシップを持ちつつ自発的かつ国際的に研究・開発を行い、人間中心型の豊かな情報社会の構築を先導する研究技術者を育成します。

選抜の方針・ポリシー

情報工学、数学に秀でた能力を有するとともに、研究活動に必要な英語能力を有し、豊かな情報社会を実現する強い熱意を持って創造的な研究・開発に意欲的に取り組める人材を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英

語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・チャレンジ精神と行動力
- ・論理的な思考力
- ・数理解析能力
- ・感性と創造力
- ・自己表現とコミュニケーション能力
- ・人間や社会に対する興味

機械物理学専攻

人材育成の目標

機械工学の根幹をなす力学分野を中心に、様々な物理現象を理解するための理論的、実験的及び数値的解析手法を身に付け、実際の工学的問題に応用する能力を有し、国際的に活躍できる「探究的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を送り出すことを目的としています。

選抜の方針・ポリシー

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める人を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・好奇心
- ・独創性
- ・挑戦する意欲
- ・論理的思考力
- ・深い洞察力

機械設計学専攻

人材育成の目標

機械工学のみならず幅広い先端的テクノロジーに精通し、これらの工学的知識を横断的に駆使することによりイノベーションをデザインする能力を有し、国際的に活躍できる「実践的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を送り出すことを目的としています。

選抜の方針・ポリシー

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める人を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・好奇心
- ・独創性
- ・挑戦する意欲
- ・論理的思考力
- ・先見性

デザイン学専攻

人材育成の目標

時代に応じて変化する社会的課題に対し、モノの造形に留まらず、デザイン思考の展開によって新たなサービスの創造と社会実装が行える以下の能力を有する人材を育成します。

1. 新しい価値を創造する能力

- ・アイデアを的確に表現できる能力
- ・デザイン、ビジネス、テクノロジー、キュレーションの専門的知識を融合することで製品やサービスを革新する能力

2. 異分野間を連携・横断する能力

- ・異分野の専門家集団の中で、課題発見、リサーチ、アイデア発想からその具現化へのプロセスを主導できるディレクション能力及びマネジメント能力

- ・グローバルとローカル双方のフィールドで活動するために必要な課題発見能力、ファシリテーション能力

3. 新しい環境（場）を創造する能力

- ・様々な社会課題に対し革新的な解決策を導くことのできる優れた発想力
- ・社会実装に必要なものづくりの知識とビジネスマインド

選抜の方針・ポリシー

デザイン、ビジネス、テクノロジー、キュレーションに関する基本的な知識と制作スキルを持ち、柔軟で独創的な発想力を備え、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲のある人を求めます。

表現・造形の基本形をマスターしたデザイン系学科、建築系学科の大学の卒業生や、経営系学科、生活科学系学科、エンジニアリング系学科の卒業生、及びそれらと同等の学力を有するモノ・空間・サービス等のデザインやキュレーションに関心のある他学科の卒業生を選抜の対象とします。

専門科目・分野に関する実技または筆記試験、研究計画や専門知識に関する口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・感知力：新しさ、楽しさ、美しさへの感性と理解力
- ・思考力：論理的思考力と柔軟な発想、構想力
- ・表現力：コミュニケーションとプレゼンテーション能力
- ・行動力：他人を尊敬できリードできるパワー

※修了方法について

本専攻には、修了審査に論文を提出する論文型と、デザインの実制作の成果を提出する特定課題型の2種類の修了方法があります。出願時にどちらかを選択する必要があります。

建築学専攻

人材育成の目標

都市・建築における〈KYOTO デザイン〉教育、すなわち歴史と先端性が同居する京都の特性を活かした、地域に根ざすと同時に国際的な競争力のある都市・建築教育を行い、建築家、建築技術者、都市プランナー、修復建築家等の高い実践能力を持つ人材を育成する。

そのために世界中から第一級の専門家を中長期にわたって招致するとともに、本学教員、学生も広く海外へ教育・研究活動を展開して、地球規模での研究力及び実践力を修得させる。また、京都だからこそ可能な都市・建築遺産のストック活用とマネジメントの技能を磨くことで、場所に即しながらも普遍的な修復・再生に関する専門能力を身につける。

そして、これらの教育体制と研究蓄積を資源として立ち上げるデザイン工房・研究施設において、具体的な建築設計や都市・建築再生マネジメント等を実践することで、社会問題の解決あるいは社会的価値の創造の能力を伸ばす。

こうして環境における空間的広がりや時間的厚みを未来に向けて高次元に統合し構想する、〈KYOTO デザイン〉の担い手を養成する。

選抜の方針・ポリシー

京都という地において都市・建築を学ぶことの意義に意識的な人、すなわち、自然・都市・住環境の一体性を志向した総合力・論理的思考力、都市・建築における歴史と場所性に寄り添う思考態度、京都の国際的ブランド力を活かして地球規模で都市・建築とそのデザインを考える発想力と創造意欲を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や小論文、実技試験、研究計画や専門知識または持参作品に関する口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・京都という地の特性への理解
- ・人間、環境、文化、歴史への関心
- ・建築設計に関する基礎的能力
- ・美に対する感受性と表現力
- ・地球規模での活動への意欲と行動力

京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻

人材育成の目標

建築学における基本的な知識や技能に加え、国際的にも通用するより高度な設計能力や研究能力を修得し、それを応用する能力をもった国際通用性のある高度国際専門職（建築家、技術者、研究者など）を育成します。

選抜の方針・ポリシー

建築計画・設計と都市・建築の再生・リデザインに関する基礎的能力を有し、国際的な環境におけるコミュニケーションやプレゼンテーションへの意欲・行動力を持ち、様々な文化的背景を持つ都市・建築空間の地域性への理解・関心がある人を求めます。専門科目・分野に関する筆記試験や小論文、実技試験、研究計画や専門知識または持参作品に関する口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・建築設計に関する基礎的な表現力
- ・建築学全般に関する基礎的知識
- ・コミュニケーションが可能な語学力と行動力
- ・地域性への理解・関心と適応力

先端ファイブ科学専攻

人材育成の目標

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを学ぶことにより、人と環境に優しいものづくりができ、かつ未知のものに向かって自らの考えでアプローチができる応用力を身につけた人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもることなく広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・独創的思考力と感性
- ・人間社会、環境に対する深い関心
- ・問題の発見力と解決意欲
- ・チャレンジ精神と行動力

バイオベースマテリアル学専攻

人材育成の目標

今世紀の中核素材となる「バイオベースマテリアル」に関する新しい材料科学・工学を切り拓きながら、新時代を担いようとする研究者・技術者を育成します。

選抜の方針・ポリシー

将来にわたって豊かな人間生活を保持するために低炭素社会を実現する必要性を理解し、有機化学、物理化学、生化学、高分子化学の内の一つに十分な基礎知識を有し、かつ他分野の知識習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す志を持つ人を求めます。専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、上記の適性を測ります。

求める能力と適性

- ・バイオベースマテリアル（BBM）に対する強い興味と関心
- ・有機化学、物理化学、生化学、高分子化学のいずれかに関する十分な基礎知識
- ・新しいBBM開発やBBMのさらなる展開を目指す強い意志と、関連分野の学修に対する旺盛な意欲
- ・国際的な舞台上、創造的に新しい社会を開拓しようとする意欲と行動力

11 学力検査日時、検査方法及び場所等

(1) 学力検査日時及び科目

① 第Ⅰ期

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
応用生物学専攻	令和3年 8月19日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	専門科目 13:00~14:30(90分)	100	生物学、生化学に関連する問題から選択
		口述試験	15:00~	100	応用生物学について実施する。
材料創製化学専攻 材料制御化学専攻 物質合成化学専攻 機能物質化学専攻	令和3年 8月19日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	専門基礎科目Ⅰ 10:00~11:30(90分)	100	有機化学(高分子化学を含む)
			専門基礎科目Ⅱ 13:00~14:30(90分)	100	物理化学
	専門基礎科目Ⅲ 15:00~16:30(90分)		100	物理学	
	令和3年 8月20日(金)	筆記試験	専門基礎科目Ⅳ 10:00~11:30(90分)	100	無機化学
			専門基礎科目Ⅴ 13:00~14:30(90分)	100	高分子機能工学(高分子物性を含む)
			専門基礎科目Ⅵ 15:00~16:30(90分)	100	生体関連化学
(注) 専門基礎科目Ⅰ~Ⅵの6科目のうちから3科目を選択する。					
電子システム工学 専攻	令和3年 8月19日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	50	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	専門科目 10:00~12:00(120分)	150	電磁気学、電気回路、電子回路の3題
		口述試験	13:30~	100	志望分野に関連する科目の専門的学力等について実施する。
情報工学専攻	令和3年 8月19日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	150	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	数学 10:00~12:00(120分)	150	微積分(常微分方程式を含む)、線形代数、確率統計の3題
		筆記試験	専門科目 13:30~15:30(120分)	300	プログラミング(C, Java, データ構造とアルゴリズム)

(次ページへ続く)

第 I 期

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
機械物理学専攻	令和3年 8月19日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	数学 10:00~11:30 (90分)	150	線形代数から1題、微積分(微分方程式を含む)から2題の計3題
		筆記試験	専門科目 13:00~16:00 (180分)	400	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各2題(計8題)のうちから4題を選択
機械設計学専攻	令和3年 8月19日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	数学 10:00~11:30 (90分)	150	線形代数から1題、微積分(微分方程式を含む)から2題の計3題
		筆記試験	専門科目 13:00~16:00 (180分)	400	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各2題(計8題)のうちから4題を選択
デザイン学専攻	令和3年 8月19日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		実技 または 筆記試験	専門科目 9:30~12:00 (150分)	300	特定課題型は、デザインに関わる問題(実技を含む)。 論文型は、デザイン、ビジネス、テクノロジー、キュレーションに関わる記述問題4題のうちから1題を選択。 試験は、英語で行う場合もあります。
		口述試験	13:00~	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。
建築学専攻	令和3年 8月19日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	専門科目 9:00~10:30 (90分)	A:200 B:200 C:300	建築学全般から出題される10題から3題を選択。
		筆記試験	小論文 10:45~12:15 (90分)	A:100 B:200 C:200	建築学全般から出題される3題から1題を選択。
		実技試験	設計 13:30~18:00 (270分)	A:300 B:200 C:100	建築設計
	令和3年 8月20日(金)	口述試験	13:00~	200	大学院における研究計画及び関連する専門的知識または持参作品について実施する。
(注) 筆記試験・実技試験の配点については、指導を希望する教員などと事前に相談し、出願時に希望する配点を A、B、C の中から選択すること(試験科目により配点 A、B、C を選択することはできない)。					

(次ページへ続く)

第Ⅰ期

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
京都工芸繊維大学・ チェンマイ大学 国際連携建築学専攻	令和3年 8月19日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアによ り、評価する。
		筆記 試験	専門科目 9:00~10:30(90分)	A:200 B:200 C:300	建築学全般から出題される10題から3題を 選択。
		筆記 試験	小論文 10:45~12:15(90分)	A:100 B:200 C:200	建築学全般から出題される3題から1題を 選択。
		実技 試験	設計 13:30~18:00(270分)	A:300 B:200 C:100	建築設計
	令和3年 8月20日(金)	口述 試験	11:00~	200	大学院における研究計画及び関連する専門 的知識または持参作品について実施する。
(注) 筆記試験・実技試験の配点については、指導を希望する教員などと事前に相談 し、出願時に希望する配点を A、B、C の中から選択すること(試験科目により 配点 A、B、C を選択することはできない)。					
先端ファイブロ 科学専攻	令和3年 8月19日(木)	筆記 試験	外国語 9:30~12:00(150分)	100	英語
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等につ いて実施する。外国人については、日本語 による試問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	令和3年 8月19日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアによ り、評価する。
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力の口述 試問等を含む。

② 第Ⅱ期

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
先端ファイブロ 科学専攻	令和3年 10月16日(土)	筆記 試験	外国語 9:30~12:00(150分)	100	英語
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等につ いて実施します。外国人については、日本 語による試問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	令和3年 10月16日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアによ り、評価する。
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力の口述 試問等を含む。

③ 第Ⅲ期

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
応用生物学専攻	令和4年 2月8日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30～	200	応用生物学について実施する。
材料創製化学専攻	令和4年 2月8日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	令和4年 2月8日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	令和4年 2月8日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	令和4年 2月8日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
情報工学専攻	令和4年 2月8日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	専門科目 9:30～12:00(150分)	300	プログラミング、ハードウェア、情報通信の3題
		口述 試験	13:30～	100	志望分野に関連する科目の専門的学力等について実施する。
機械物理学専攻	令和4年 2月8日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30～	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問う。
機械設計学専攻	令和4年 2月8日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30～	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問う。

(次ページへ続く)

第Ⅲ期

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
デザイン学専攻	令和4年 2月8日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		実技 または 筆記 試験	専門科目 9:30~12:00 (150分)	300	特定課題型は、デザインに関わる問題(実技を含む)。 論文型は、デザイン、ビジネス、テクノロジー、キュレーションに関わる記述問題4題のうちから1題を選択。 試験は、英語で行う場合もあります。
		口述 試験	13:00~	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。
先端ファイブロ 科学専攻	令和4年 2月8日(火)	筆記 試験	外国語 9:30~12:00 (150分)	100	英語
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施する。外国人については、日本語による試問を含む。研究意欲と表現力も重視して評価する。
バイオベース マテリアル学専攻	令和4年 2月8日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。

④ 秋入学

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
先端ファイブロ 科学専攻	令和3年 8月19日(木)	筆記 試験	外国語 9:30~12:00 (150分)	100	英語
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施します。外国人については、日本語による試問を含む。

- (2) 試験場 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地)
 試験室等は、次の日までに本学のホームページ (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) 及び
 入試課前掲示板に掲示します。
 第Ⅰ期・秋入学: 令和3年8月18日(水)
 第Ⅱ期: 令和3年10月15日(金)
 第Ⅲ期: 令和4年2月7日(月)

(3) 受験についての注意
共通の注意事項

注：現状においては、新型コロナウイルス感染症の今後の影響の見通しが立たないことから、新型コロナウイルス感染防止に関連する注意事項については、試験実施日の2週間前を目途に本学ホームページ (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) に通知します。

1) 持参物

試験には、次の物を持参してください。

- ① インターネット出願システムより印刷した受験票
- ② 筆記用具（HB程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム）
- ③ 時計（携帯電話や時計以外の機能が付いた機器を、時計として使用することはできません。）

※デザイン学専攻、建築学専攻および京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻については、専攻ごとの注意事項で指定されたものを準備しておいてください。

2) 受験上の留意事項

- ① 受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、試験監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は、入試課へ申し出てください。
- ② 試験当日は試験開始 20 分前までに試験場に到着し、各科目の試験開始 15 分前までに所定の試験室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ③ 試験開始後、20 分以上遅刻して試験室に到着した場合は、受験することができません。
- ④ 指定の科目等を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
- ⑤ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じます。
- ⑥ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。
- ⑦ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が、次の試験時間の遅刻限度 20 分を経過した場合は、当該学力検査科目の受験も認めません。
- ⑧ 試験中、携帯電話・その他の電子機器・腕時計のアラーム音などが発生しても、試験の再実施や時間の延長などの対応はいたしません。

3) 禁止事項

- ① 試験中は、受験票並びに試験監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。
- ② 計時以外の機能が付いた時計及び計算機能等がついた文房具の持込を禁止します。
- ③ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ④ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。
- ⑤ 試験室内では入室から退室まで（休憩時間を除く）、飲食（ガム・あめなどを含む）は禁止です。
- ⑥ 試験開始以降、試験室を退室するまで（休憩時間を除く）、各専攻から許可された物品がある場合を除いて、携帯電話やその他の電子機器（オーディオプレーヤー・パソコン・ゲーム機・電子辞書・電子手帳など）は使用できません。
- ⑦ 各建物のエレベーターの使用を禁止します。

4) その他

試験当日に、交通機関の遅延等により試験開始時刻の変更等がある場合は、本学ホームページ (<https://www.kit.ac.jp/>) でお知らせします。

その他、受験について不明な点があれば、入試課に問い合わせてください。

各入学試験における専攻ごとの注意事項

第Ⅰ期

◆ 材料創製化学専攻／材料制御化学専攻／物質合成化学専攻／機能物質化学専攻

受験生には、専門基礎科目の試験において、プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）を貸与します。

◆ デザイン学専攻

口述試験の際、A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

なお、受験者には試験（実技など）に使用する特別な用具は貸与します。

◆ 建築学専攻

下記のものを持参してください。

ア. 専門科目：プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。

イ. 小論文：プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。

ウ. 設計：製図用具、プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。ただし、製図板とT定規は貸与します。

また、メモ類の持ち込みは一切認めません。

エ. 口述試験：研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料、または建築設計作品のうち代表的な2点以上の説明できる図面、写真等を持参してください。

ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

◆ 京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻

下記のものを持参してください。

ア. 専門科目：プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。

イ. 小論文：プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。

ウ. 設計：製図用具、プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。ただし、製図板とT定規は貸与します。

また、メモ類の持ち込みは一切認めません。

エ. 口述試験：研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料、または建築設計作品のうち代表的な2点以上の説明できる図面、写真等を持参してください。

ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

第Ⅲ期

◆ デザイン学専攻

口述試験の際、A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

なお、受験者には試験（実技など）に使用する特別な用具は貸与します。

12 合格発表

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) に発表します。

なお、合格者には、入学願書に記載された受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

第Ⅰ期・秋入学：令和3年9月1日（水）17時（予定）

第Ⅱ期：令和3年10月20日（水）17時（予定）

第Ⅲ期：令和4年2月18日（金）17時（予定）

13 入学手続

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は、合格通知書に同封します。

第Ⅰ期・第Ⅱ期

入学手続期間 令和3年11月18日(木)から令和3年11月25日(木)(17時必着)まで

第Ⅲ期

入学手続期間 令和4年3月22日(火)から令和4年3月27日(日)(17時必着)まで

秋入学

入学手続期間 令和3年9月3日(金)から令和3年9月9日(木)(17時必着)まで

14 欠員補充

追加合格

デザイン学専攻、建築学専攻、京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻においては、11月25日の入学手続時の入学手続者が一般入試第Ⅰ期の募集人員に満たない場合、11月29日から12月3日まで一般入試第Ⅰ期の合格者を追加することがあります。

追加合格者には、電話等で入学願書に記載された受信場所に連絡しますので、この期間は直接本人と連絡できるようにしておいてください。追加合格状況については、本学ホームページ (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) で確認してください。

なお、入学手続後に入学辞退者がいた場合においても、一般入試第Ⅰ期の合格者を追加することがあります。

15 入学に要する経費

- (1) 入学料 282,000円
- (2) 授業料 267,900円(半期) 535,800円(年額)
- (3) 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料
2年間の保険料 2,430円(予定)

- ① 入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。
- ② 入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。
- ③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。
- ④ 入学手続時に年額授業料を一括して納入することもできます。
- ⑤ その他、必要に応じて納入する諸経費があります。
- ⑥ 納入方法等の詳細については、合格通知に同封します。
- ⑦ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑧ 入学手続時に入学に要する経費を納入した後で、令和4年3月31日(秋入学の場合は令和3年9月22日)までに入学を辞退した場合は、申し出により入学料以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係に連絡してください。

16 入学料・授業料の免除等制度

入学料・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または一部を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。

令和4年度前期分（秋入学は令和3年度後期分）の授業料免除の申請方法は、外国人留学生（在留資格が「留学」の人、及び本学入学時まで「留学」の在留資格を取得する人）とそれ以外の人とで次のとおり異なります。詳細は、学生サービス課奨学支援係へ問い合わせてください。

■ 令和4年度前期分（秋入学は令和3年度後期分）の授業料免除の申請方法

- (1) 外国人留学生（在留資格が「留学」の人、または本学に入学するまでに「留学」の資格を取得する人）のうち、下記のいずれかに該当する人

I. 私費外国人留学生

- II. 出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人、またはその申請をする予定のある人も含まれます）

出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

① 申請期間

入試の出願期間に、「② 申請書類」を入試出願書類と一緒に提出してください。出願期間後の申請は受け付けません。出願期間の詳細は、3ページの『4 出願期間』を参照してください。

② 申請書類

- ・授業料免除申請書類一式（本学所定様式）

本学ホームページ（https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/）よりダウンロードしてください。

③ 選考結果の通知

入学試験の合格通知書と併せて、免除選考結果通知書を送付します。

- (2) 上記(1)以外の人

入学手続後に申請を受け付けます（申請受付日は令和4年3月下旬（秋入学は令和3年9月中旬）の予定）。

申請方法は、合格通知書に同封する入学手続書類で確認してください。

17 奨学金制度

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度があり、学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、奨学金の貸与を受けることができます。奨学金の種類には、第一種（無利子）と第二種（有利子）があります。外国人留学生は対象外です。

- (2) 返還免除の制度

本学の大学院において独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金貸与者で当該年度に貸与期間が終了する人のうち、特に優れた業績をあげたとして機構が認定した人は、全額または一部の返還が免除される制度があります。

問い合わせ先

大学院入試全般について

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学

入試課大学院入試係

TEL : 075-724-7162 e-mail : innyushi@kit.ac.jp

入学手続について

学務課学務企画係

TEL : 075-724-7133 e-mail : gakumu@jim.kit.ac.jp

入学料・授業料の免除制度及び奨学金制度について

学生サービス課奨学支援係

TEL : 075-724-7143 e-mail : shogaku@jim.kit.ac.jp